



改善提案特別表彰

受賞者：竹内恵美子さん



【表彰理由】

平成27年12月分での改善提案内容が非常に優秀であり、今回6件の提案を頂きました。

提案内容のいずれも、

ちょっとした気遣い、少しの工夫で効果がある点

他同職場でのスタッフ（同僚）を巻き込んでいる（色んな方が、協力、支援して頂いている）

点

改善の内容が、自分達の仕事のことだけでなく、お客様（館運営者、来客者）にも、非常に喜んで頂いている点

以上3点が秀逸であった点を評価し、年間表彰とは別に、特別表彰させて頂きました。

提案の一部を紹介します。他にもご紹介したい内容もありますが、紙面の関係で・・・また改めてご紹介させていただきます。

館内に置いているゴミ箱の明記改善。

・館内に置いている分別ゴミの容器の本体側にはゴミ分別の種類が明記されているが、蓋（上部）には、明記がない。上部もゴミの分別が見える化（明記）することで、ゴミの分別の適正化が図れた。

（ゴミがきちんと分別されるようになった）

この提案の素晴らしい点は、「言われてみれば」「そう言えば」といった普段は何気なく思っている（感じている）

事を見逃さず、先延ばしせず（いつでも出来ると思うと時間だけが過ぎていく）に、即改善された点と、その効果が、自分達だけではなく、周囲にも波及（これぞ四方よし！！）していった点だと思います。

ごみ箱の底上げ

・高さのあるごみ箱のゴミを回収するのが大変（底が深いと手を伸ばしてもなかなかゴミを掴めない）だったので、ごみ箱の底を上げたことで、無理な体勢を取らずに回収出来るようになった。回収スピードも上がった。

事務所椅子キャスター部への油注し非常に重たい椅子がある。

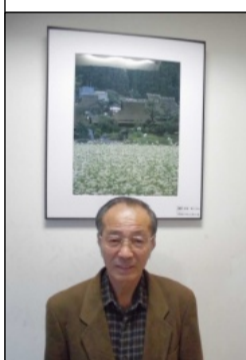
・椅子自体も古いので、動かすにも非常に大変。時間のある時に休まれている職員の方の椅子キャスター部分に油を注すことで、動かすのが楽になった。

この提案は、同じ現場に居る設備スタッフの方と連携して実施中とのこと。周りの人を巻き込みながら改善を進めて頂いている点が素晴らしいと思います。

新規現場紹介

1月1日より神戸市内にある有料老人施設にて日常清掃業務がスタートしました。介護施設ですので、感染予防のためにも常に清潔を保たなければなりません。敷地が広く、1フロアを回るだけでも大変ですが、見える範囲の清掃はもちろん、見えない範囲での清掃を常に行い、お客様の健康維持に貢献し、経営理念でもある「豊かで活力のある、快適な空間」になるよう努力していきます。今後の活躍にご期待ください。

本社展示物紹介



干支押絵（右写真）

杉本睦子さんより、昨年12月24日に今年の干支（さる）の押絵を頂きました。本社事務所に飾らせて頂きました。



風景写真（左写真）

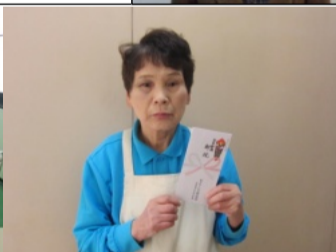
管理3課 大垣賢一さんがご趣味で撮影された写真を本社2階にて飾らせて頂きました。

表彰案内



永年勤続者表彰

石井さん



西田さん



米田さん



丸山さん 奥村さん



佃さん 田中さん

昨年12月に長年各現場でご勤務（15年超え）頂いておられる方の社内表彰をしました。表彰者は7名の方々です。お客様と良好なお取引をさせて頂いておりますが、表彰者の方々が今まで頑張ってくれた努力、ご尽力の成果であることを、この場をお借りして感謝申し上げます。今後共よろしくお願ひします。

氏名：石井幸子さん 勤続年数：15年6ヶ月

氏名：奥村ちよみさん 勤続年数：15年7ヶ月

氏名：西田とみ子さん 勤続年数：15年2ヶ月

氏名：丸山幸栄さん 勤続年数：15年5ヶ月

氏名：米田奈津子さん 勤続年数：15年8ヶ月

氏名：田中よし子さん 勤続年数：15年4ヶ月

氏名：佃 雅子さん 勤続年数：16年3ヶ月

第69回優良従業員表彰

明石商工会議所主催の社外表彰で平成28年1月22日に表彰式が行われ、本社より営業部 松本香織さんと管理2課 池田耕一郎さんを推薦しました。

又、平成28年1月8日に社内表彰でピア賞（営業部 松本香織さん）、準ピア賞（管理2課 木川いずみさん）、努力賞（管理2課 藤本和寛さん）を表彰しました。

年頭にあたり 幸せづくり

2016年 1月 8日
ピアサービス 株式会社
代表取締役 岸本 吉充

新年明けましておめでとうございます。今年のお正月は暖かい天気恵まれ、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えになられた事とお喜び申し上げます。

昨年も皆様方の有意注意の努力により大きな労働災害・事故もなく、元気に一年間を過ごせた事に感謝致します。

今回はビルメンテナンスというサービスを提供する企業として「目的と目標」、「幸せと満足」という視点で考えてみたいと思います。

「目的」と「目標」という違い

目標は、目指すべき標(しるべ)、目的は、目指すべき的。

例えば、「無借金経営をしよう!!」、「株式上場しよう!!」、「業界シェア 1になろう!!」というのが目標。

「仕事(企業)を通じて、より良い社会の為、従業員の為、お客様の為にお役に立ちたい」という(企業・経営)理念が目的となります

すなわち目標は、目的を達成する道筋・手段であり、簡単に言えば、目的の為にあるのが目標と言えるのではないのでしょうか。

目的は、追求し続ける、進化・向上する質的なものであり、目標は、到達したり、しなかったりする量的なものであるとも言えます。

我々は数値化できる量(目標)の達成ばかり意識して質である目的の追求を、ついつい疎かにはしていませんか?

「幸せ」と「満足」の因果関係

人は、「幸せ」を強く意識すると、「満足」が手に入り易くとなると言われます。しかし、「満足」ばかりを追い求めると「幸せ」が遠ざかり、最後には満足すらもなくなってしまうとも言われます。

例えば、好きなモノばかり食べる人、タバコやお酒が好きな人も、その瞬間は満足ですが、過剰になると、だんだん健康から遠ざかり、最後には、医者から全部やめると言われ、結局「幸せ」も「満足」もなくなってしまうことはその顕著たる例でしょう。

「目標と満足」「目的と幸せ」

目標や満足は結果(リゾルト)や経済、便利さ等と関係が深く、目的や幸せはその過程(プロセス)の中に感じる事ができ、道徳、感謝と関係が強いように思われます。また、目標は数値化し易い為、(目に)見える具体的なものですが、目的は数値化しにくく、見えにくい(抽象的)であるとも言えます。

ともすれば、目標・満足は損得に関係する傾向が強い為、今だけ、金だけ、自分だけと利己的な考え方が強くなり、それは、どんどんエスカレートしていきます。

目的・幸せは同じことの繰り返し、反復でも効果的です。目的と幸せは心の持ち方で大きく左右され、「利他を考えると人は幸せになれ、幸せになろうと思えば、周りの人全てを幸せにする事を朝から晩まで考えなさい」という人もいます。

デニス・ガポールという物理学者「人間は逆境では優れているが、安全と富を得るとみじめな目的を失った生き物となりがちである」と言っています。(注釈1)

世界中で安全と富の両方が一番整っているのは日本だと思えます。そう考えると我々は見事に目的を失っていると言えます。日本人の幸福感が少ないと言われるのも、政治家が目的に関係する発言が少ないのもその性かもしれません。あの東日本大震災では、日本人の行動が海外から賞賛されるようなエピソード、美談は生まれましたが、それは皮肉にも、突然に安全と富が一瞬で失われるという逆境になってしまい、何が大事かということに気がついたということかもしれません。

働く目的(幸せ)と目標(満足)

働く人の視点で、目的(幸せ)と目標(満足)を考えてみるとどうでしょう。

例えば、「売上を増やそう!!」、「昇進・昇格して給料を上げよう!!」、「休みは多い方が良い!!」というのは目標(満足)となり、これはマズローの欲求5段階(注釈2)の下層にあたるようです。上層にあるのは「社会や利他の為」という目的(幸せ)に関係するものです。

世間で「うちの会社も社員のベクトルが合ってきたよ」というのは、ベクトルは方向、目的意識を表すものですから経営理念(目的や幸せ)が浸透してきたという意味になります。

労働者が求める労働条件の中には、「満足要因」と「幸せ要因」とがあると言われます。

「満足要因」とは、給与、賞与、残業の少なさ、休みの多さ等の待遇と言われるものにあたります。

「幸せ要因」とは、自分の成長が実感できる、自分で考えて仕事をする事ができる、自由に意見が言える、自分が明確に評価してもらえる、ビジネスパートナーから感謝されるetc...。すなわち「働きがい=働く意味」と言えます。待遇(満足)も大事ではありますが、今一度、もう一度企業理念を理解して、働きがい(幸せ)を見える化にする必要があるのではと思えます。

最後に

私たちはお客様から「本当にありがとう」と心から言ってもらえる、感動を与える仕事がしたいと願っています。

「ありがとう」とお礼を言ってもらえることが、誠意と努力を認めて頂いた証であり、何よりそれは仕事をさせてもらう我々も非常に幸せな気分になり、次への活力になります。

これも「働きがい」ある職場づくりの近道だと考えています。

私も今年一年心して精一杯一生懸命に頑張ります。

社員の皆様も健康で素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。

注釈1 デニス・ガポール-[1900-79]ハンガリーの物理学者。1971年ノーベル物理学賞受賞の際の言葉

注釈2 アブハム・マズロー[1908-1970]アメリカの心理学者。人間の自己実現を研究対象とする「人間性心理学」の最も重要な生みの親とされている。欲求の5段階説(欲求のピラミッド 下層より「生理的欲求」「安全欲求」「社会的欲求」「尊厳欲求」「自己実現欲求」)を主張したことで知られる。